

環境科学研究センターにおける環境教育の実施状況

環境科学研究センターでは、担うべき機能の一つに「環境教育拠点機能」を掲げ、環境に対する取り組みの普及啓発を図り、県民・事業者・民間団体等の環境保全活動を推進するため、環境教育・学習の機会を提供、支援する事業を行っている。

1 山形県環境アドバイザーの派遣

環境に関する専門分野で特に優れた知識、経験及び技術を有する学識経験者、専門家等を「山形県環境アドバイザー」として委嘱し、講演会、研修会、学習会等へ講師として派遣している。

年度	H29	H30	R1
派遣件数	23	27	24

注) R1は10月末まで。

2 山形県地球温暖化防止活動推進員の派遣

地球温暖化に関する知識を有し、知識の普及や防止活動の推進のために県が委嘱した推進員を、講演会、研修会、学習会等へ講師として派遣している。

年度	H29	H30	R1
派遣件数	45	51	31

注) R1は10月末まで。

3 環境教室（出前講座）

申込者の希望する内容に応じた環境教室（出前講座）に、センターや委託先NPO法人の職員を講師として派遣している。

年度	H29	H30	R1
派遣件数	68	109	61

注) R1は10月末まで。



4 環境学習プログラムの利用促進

平成29年度から作成した6テーマの環境学習プログラムを活用した環境教室について、平成30年度は16件、令和元年度（10月末まで）は13件実施し、普及啓発を図っている。

5 水生生物調査

水環境の保全の大切さを学習することを目的として、身近な河川に生息する水生生物を調査することによりその河川の水質を知る「水生生物調査」を実施している。

年度	H29	H30	R1
参加者数	1,344	1,978	1,900

注) 延べ人数。R1は作業中のため見込み数。



6 施設の利用等

センターの環境情報・自然環境棟を開放し、自主学習、研修会等の場で活用いただいております。研究施設や隣接する県営太陽光発電所の見学にも対応しています。

また、6月の環境月間に合わせ、施設を一般開放するイベントとして「親子で楽しむ環境科学体験デー」を開催しています。

年度	H29	H30	R1
利用者数	1,517	1,148	1,007
体験デー来場者数	436	333	347

注) R1の利用者数は10月末まで。
来場者数は利用者数の内数。



7 環境相談、情報提供・収集

環境に関する相談に応じるとともに、学校、市町村、各種団体等への訪問や電話により、センターが実施している環境学習内容の周知を行っている。

年度	H29	H30	R1
相談件数	13	4	6
情報提供・収集件数	103	126	105

注) R1は10月末まで。

8 環境情報の発信

県内の環境行政に関する情報やセンターの業務内容等をホームページで紹介するとともに、「環研センターNEWS」を年4回発行している。また、広く環境保全に関する情報について、「つなぐ環境やまがた通信ブログ」及び「ツイッター」により、タイムリーかつ広範に発信している。

年度	H29	H30	R1
ブログ等投稿件数	26	32	82

注) R1は10月末まで。